

わたしのすきな絵本

「今月の一冊 ～わたしのすきな絵本～」(12月)

<ご紹介者>

矢祭町長 佐川 正一郎

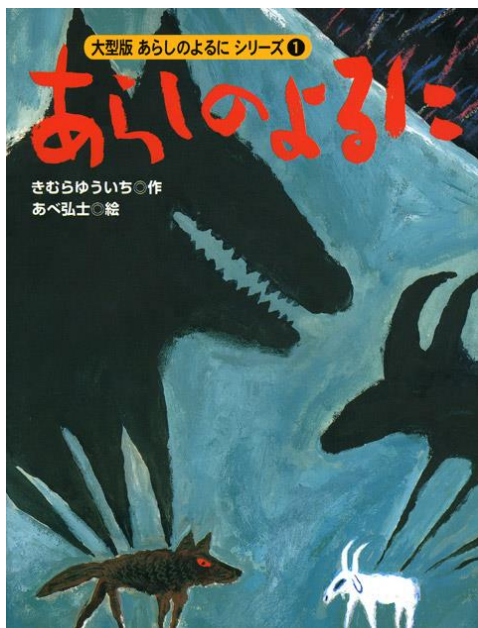
矢祭町子ども読書の街づくり推進委員会委員長



『あらしのよるに』

きむら ゆうち 作 / あべ弘士 絵 / 講談社

対象：小学生から高齢者まで



内容のご紹介

今月の紹介する絵本は、あべ弘士先生です。絵本コンクールでは、大変お世話になっています。“あらしのよるに”を読みますと、大自然の中を生きる動物たちは、弱肉強食の世界です。

ヤギとオオカミが嵐の夜にまっくらな小屋の中で出会います。お互いに確認がとれない中で、会話が楽しく安らぎを感じます。

ヤギの天敵はオオカミです。オオカミはヤギとは知らず、また、ヤギはオオカミと知らずに会話がユーモラスであります。会話のどこの場面でお互いを知ってしまうのか、ピンチの緊張感も感じます。

心の通じ合う会話を大切にしたいと思います。私達の家庭や社会でも、大事なことです。

あらしのよるに、たったひとり、みしらぬところでだれかにであえたら、ほっとしますよね。でも、そのだれかさんが、こわーいあいてだったら……。きみならどうするかな？

ヤギとオオカミのおはなしは以下続編として『あるはれたひに』『くものきれまに』『きりのなかで』『どしゃぶりのひに』と刊行されています。

産経児童出版文化賞 JR賞 / 講談社出版文化賞絵本賞

(講談社紹介文 / 矢祭もったいない図書館)